

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	きっずプラス笠間はばたき教室		
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動の内容を一人ひとりの特性に基づいた個別支援を行っている。	振り返り等を行う中で職員間で案を出し合い、それぞれに合わせた活動を行っている。	利用者に合わせた活動、興味を持って取り組める活動を行っていけるように努めている。
2	送迎時に保護者と家庭や学校での様子を話す機会を設けている。	職員が話すのみではなく、保護者の思いや話を丁寧に聞くことを心掛けている。	ゆっくりと話す時間を設けることが難しいときもあるため、必要があれば個別に話をする時間を設ける。
3	利用者が活動しやすい環境作りを意識している。	利用者に合わせて、視覚的な支援や声掛けなどを振り返り、次の活動に活かすようにしている。	利用者の発達の特性を理解する学習を実施しつつ、対応策の経験値を増やしていけるように努めている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援の意図や利用者の理解について、職員間での共有認識にばらつきが生じることがある。	パート職員で勤務日数が少ない職員について、情報の伝達に時間差が生じやすい。	ICT等の活用により、情報共有の即時性を進める。
2	放課後等デイサービスを利用いただいている保護者間同士の交流や情報交換を行う機会が少ない。	機会と場を提供することが難しい。	保護者同士の交流する場の機会やそれに伴うPR活動(保護者研修会etc.)を実施していく。
3	放課後等デイサービスでの避難訓練の機会が少ない。	計画不足。	事前に実施できるよう年間計画の段階から考慮する。活動内容に避難訓練を盛り込むなど機会を増やす。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 きっずプラス笠間ばたき教室

公表日 令和8年3月1日

利用児童数 17名

回収数 12名

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11			1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	1		3		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	2		2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11			1		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11		1			再度、こどもに合わせた活動、興味を持って取り組める活動を行っていきけるように努める。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	2		2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	2				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	2		2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	2		1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	2	1	2		年間計画の段階から考慮する。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	2				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	4		1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	3	3	1		機会やそれに伴うPR活動を実施している。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	11	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	1	1			6ヶ月毎に面談を実施している。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	2				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	3	2	2		事前に実施できるよう年間計画の段階から考慮する。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	2		2		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	1		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	1	1		SNS等で発信している。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	2		2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	2	1	4	避難訓練やったことないと言っていましたので・・・。	事前に実施できるよう年間計画の段階から考慮する。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	1		3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	1		1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	2				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	きっずプラス笠間いはたき教室				公表日	令和8年3月1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		ブレイルームと多目的室を分離している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		曜日によって、職員を多めに配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		10		2階階段が急なため、職員全員で利用者が上がらないように注視している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		送り終了後に職員が毎営業日、清掃している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		各部屋、ドア付きの部屋になっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	6	PDCAサイクルを心掛け、活動前後で職員ミーティングを実施している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	6	保護者向け評価表を活用し、保護者の意向の把握に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	6		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		10		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		10		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	6		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	6	保護者等と話し合い、支援計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	6		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	6		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		10		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	6		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	6	ミーティングにおいて、支援の仕方や活動の進め方を立案している。	職員一人ひとりが忌憚ない意見を言えるように配慮している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	6	季節や達成度合いに合わせて変化させている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	6	個別の目標に沿った計画を作成し、支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	6	毎日ミーティングにて確認している。	学校送迎前に、職員ミーティングを毎日している。プログラムの流れ、支援方法については詳細に打合せしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	6	翌日のミーティングにて共有している。	送迎後は時間外のため、翌日になってしまっている。今後改善予定
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	6		毎日、記録するとともに支援の検証・改善について話し合っている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	6	6ヶ月に1度の見直しをしている。	出来れば3,4ヶ月に1度の見直しをしていきたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	6		成功体験や自己肯定を高め、友達と関わったり、表現する喜びを体験させていきたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	6		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	6		児童発達支援管理責任者が出席している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		10		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	6		SNS等から行事予定表を把握するとともに、保護者からも情報をとっている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		10		今まで出来ていなかったため、今後は進めていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		10		今まで出来ていなかったため、今後は進めていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		10		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		10		以前は交流があったが、その人が退職してからはストップしてしまっている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	6	笠間市のメンバーであり、積極的に参加している。	今後も情報収集等に役立てていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	6		送迎時に伝えているが、職員によって温度差があるため、今後は更なる研修をしていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		10		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	6		保護者にわかり易く説明している。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	6		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	6		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	6		職員によって温度差はあるが、更なる勉強会を開催していく。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		10		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	6		管理者が直に保護者のところに出向き、謝罪し職員全員に周知徹底している。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	6		利用者・保護者の目線を重視している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			個人情報の書類は鍵付きキャビネットに保管している。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	6		伝達方法を工夫したり、伝わる方法を利用者・保護者に合わせている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		10		地域住民との交流が出来ていないため、今後は地域の中の事業所として開かれた事業運営に努める。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	6		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	6		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	6		食事提供はないが、おやつ等はあるため、アレルギーがあれば活動には取り入れない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	6		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	6		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	6		事例があった場合、報告書に記載し、ミーティングを通して職員間で共有している。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	6		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	6		現在、対象児童はいない。	